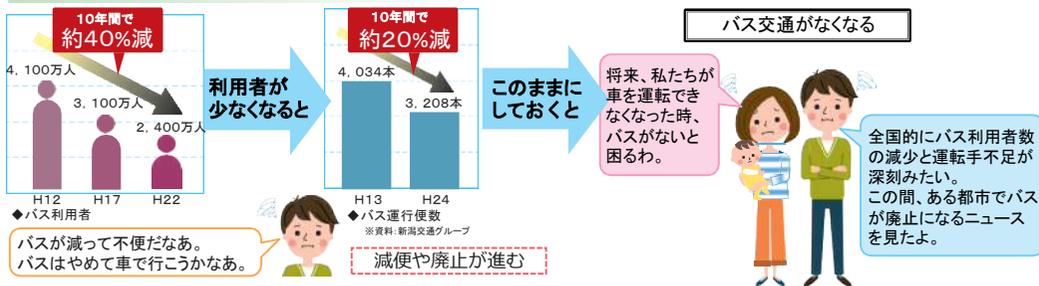


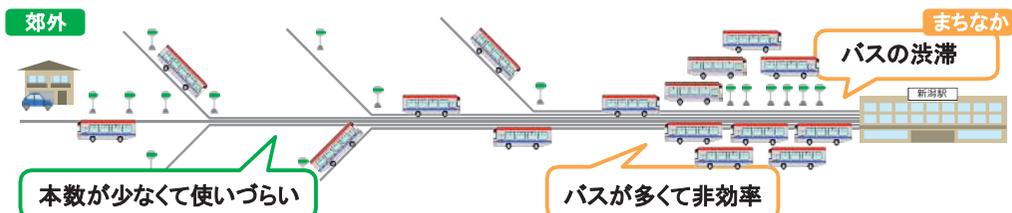


新潟市の交通環境の背景



BRT・新バスシステムの取り組み

これまで、すべての路線が郊外からまちなかに向かい、1台のバスが長い一本の“線”を走っていました。



利用者が減り、バスが減り続ける悪循環に歯止めをかけるために…
平成27年9月「BRT・新バスシステム」をスタート！

多くの路線がまちなかで重複していた区間を、BRTの導入により集約・効率化し、それにより生じた余力(車両や運転手)を郊外に投資し、郊外路線の増便や、路線の新設を含めたバス路線の再編を行いました。

郊外

まちなか

交通結節点

バスがスムーズに運行！

バス便数の増加
路線の新設

雨風を防ぐ屋根や防風壁を整備

乗り換えに関する情報を提供

BRTは平日のピーク時間帯で3分間隔での運行！

▲屋根やベンチなどの設置で乗り換えとバス待ちに配慮した交通結節点

▲BRTバス停では運行情報を表示

▲社内モニターで乗り換えをサポート

▲低床で座席も多く、輸送力が高い連節バス「ツインくる」



事業効果！郊外路線の増便や路線の新設ができました。

◆BRT(萬代橋ライン)を除く運行本数の推移

3,017本
3,319本

302本増便

【開業前(計画時)】 【平成30年3月ダイヤ改正】

全国的にバス運行本数が減少しているなかで、新バスシステムの導入により、バスの本数を増やすことができました。

●7つの新設路線の設定

●交通結節点の整備

みなと循環線

青山交通結節点

●駅前広場への新たな乗り入れにより、鉄道との接続性が向上。

内野駅

亀田駅

白山駅

郊外路線の増便、路線の新設、高齢者向けの運賃割引施策などサービス向上に取り組んできた結果…

全体バス利用者数の推進(イメージ)

開業以降、利用者数は増加に転じ、1年目では前年と比べ0.8%増加。2年目では前年と比べ2.5%(約58万人)増加。

利用者数は、平成12年からの10年で40%減少

平成27年新バスシステム開業

中央(C)：県庁・浜浦町線など8路線
東(E)：空港松浜・河渡線など8路線
南(S)：鳥屋野・長潟線など9路線
西(W)：西小針・大堀・大野白根線など8路線

383.4万人
394.9万人
467.7万人
485.0万人

401.3万人
419.6万人

670.7万人
699.2万人

+3.0%
+11.5%

+3.7%
+17.3%

+4.5%
+18.3%

+4.2%
+28.5%

イベントによって楽しく飾られた車両

大規模イベントにおける連節バス活用

新潟駅前からのバス利用者

バス利用環境の向上に取り組んできたことで、様々な効果が現れはじめています。引き続きバスサービスの向上にむけ、バス利用者の皆様からのご意見をお聞きしながら、運行事業者などとともに持続可能なバス交通を目指します。